

平成25年行政事業レビューシート (外務省)

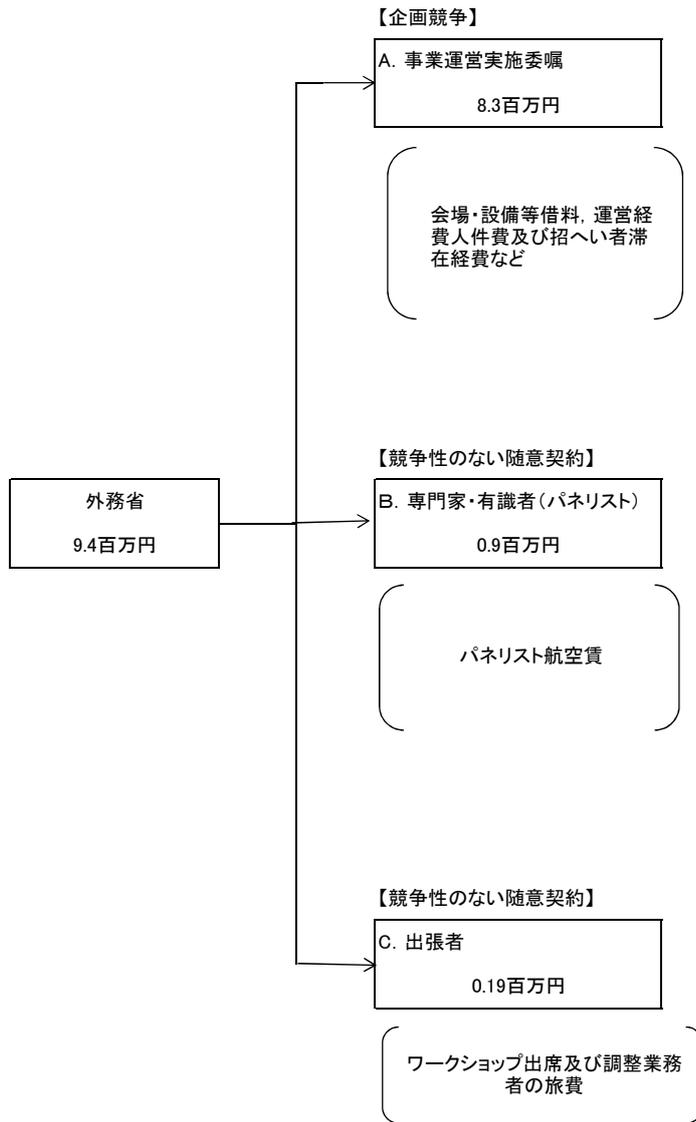
事業名	復興(特に風評被害)に係る被災地等での国際ワークショップ開催		担当部局庁	経済局		作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成24年度		担当課室	政策課		課長 飯島 俊郎			
会計区分	特別会計		政策・施策名	II-2-5 海外の日本企業支援					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第4条第1項ロ		関係する計画、通知等	東日本大震災からの復興の基本方針					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	福島第一原発事故後の被災地産品に対する風評被害の払拭のため、各国の関係者(政府機関関係者、ビジネス関係者等)に被災地の復興の状況や出荷制限の取組等の実情を直に見てもらい、母国に戻っての報告等を通じて各国の輸入規制緩和に向けた施策等に具体的に反映させる。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	福島県郡山市で開催される原子力安全に関する福島関係会議に際し、被災地産品の安全性をテーマとするワークショップを開催。各国政府関係者や外国プレス、ビジネス関係者等に被災地産品の魅力と安全性に対する理解を深めてもらうことを目的として、福島県関係者によるプレゼンテーション、我が国と主要国の政府関係者によるパネルディスカッション、福島県産品の試食・試飲等を実施する。								
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他								
予算額・執行額 (単位:百万円)			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
	予算の状況	当初予算	—	—	20	—			
		補正予算	—	—	—	—			
		繰越し等	—	—	—	—			
		計	—	—	20	—			
	執行額		—	—	9.4				
執行率(%)		—	—	46.7					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値(25年度)	
	日本産品に対する風評被害の緩和(日本産品に対する輸入規制措置を設けている国のうち、右措置を撤廃した国の数)			成果実績	国数	—	—	5	—
				達成度	%	—	—	100	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込	
	国際ワークショップの被災地における開催			活動実績	招へい国数	—	—	3	—
				(当初見込み)		( )	( 16 )	( )	
単位当たりコスト	3,136千円(9,408千円/3カ国)			算出根拠	執行額/招へい国数				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由					
	委託費	—	—						
	旅費	—	—						
	招へい費	—	—						
計									

事業所管部局による点検						
	項目	評価	評価に関する説明			
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。	○	諸外国による被災地産品の輸入規制の緩和・撤廃については、被災地自治体との協力の下、政府として積極的に取り組む必要がある。			
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○				
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。	○				
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	企画競争により効率的な経費の運用に努めた。			
	受益者との負担関係は妥当であるか。	—				
	単位当たりコストの水準は妥当か。	○				
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	—				
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○				
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	—				
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	—	ワークショップの成果を踏まえ、改めて諸外国に対する輸入規制の緩和・撤廃を働きかけ、マレーシア等が規制を解除した。			
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○				
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○				
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	優先度の高い事業であり、国が実施すべき事業であったことから、適切な執行に努めた。					
外部有識者の所見						
行政事業レビュー推進チームの所見						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年		平成23年	26	平成24年	新24-28

個別事業名:復興(特に風評被害)に係る被災地等での国際ワークショップ開催

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位:百万円)



個別事業名:復興(特に風評被害)に係る被災地等での国際ワークショップ開催

A.事業運営実施委嘱			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
借料	会議場, 事務局, 控え室, 機材等	2.4			
人件	技術者, 運営スタッフ, 通訳, 司会等	2.2			
運営	試飲・試食, 資料, 電気・機器使用料等	1.9			
旅費	滞在費, エスコート等	1.8			
計		8.3	計		0
B.専門家・有識者(パネリスト)			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
旅費	航空賃	0.9			
計		1	計		0
C.出張者			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
旅費	日当・宿泊料・鉄道賃	0.19			
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途  
 (「資金の流れ」に  
 おいてブロックご  
 とに最大の金額  
 が支出されている  
 者について記載  
 する。費目と使途  
 の双方で実情が  
 分かるように記  
 載)

個別事業名:復興(特に風評被害)に係る被災地等での国際ワークショップ開催

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)コングレ	原子力安全に関する福島閣僚会議の機会における「復興(含む風評被害)	8.3	5	
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	個人A	ワークショップ参加パネリスト航空賃	0.5		
2	個人B	ワークショップ参加パネリスト航空賃	0.2		
3	個人C	ワークショップ参加パネリスト航空賃	0.2		
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	出張者A	ワークショップ出席及び調整業務	0.034		
2	出張者B	ワークショップ出席及び調整業務	0.028		
3	出張者C	ワークショップ出席及び調整業務	0.027		
4	出張者D	ワークショップ出席及び調整業務	0.017		
5	出張者E	ワークショップ出席及び調整業務	0.017		
6	出張者F	ワークショップ出席及び調整業務	0.016		
7	出張者G	ワークショップ出席及び調整業務	0.016		
8	出張者H	ワークショップ出席及び調整業務	0.016		
9	出張者I	ワークショップ出席及び調整業務	0.016		
10					